

6 桶バチ ショット

① Rショット



* 画像は親指と薬指で挟む握りですが、親指と人差指の握りも同じで、ポイントは「挟み込む部分」を支点にして、バチを回転運動させます。

実際の演奏時、回転（一回転していません）運動中での支点は【手首】があり、少し大きな振りになると【肘】があります。更に【肩】も。

という風にバチショットの中の支点は四つあります。

この四つの支点（関節）がしなやかに動くと言うことが重要です。

※ 初心者によく見られますが、支点【指】はもちろんのこと、【手首】・【肘】がほとんど動かず、【肩】の支点だけで打ち下ろしている。

経験を積むほどに、【肘】も【手首】も、さらには【指】さえもしなやかに動いてきます。

しかし右手はそうでも、左手の動きが「どこかぎこちない」ということも多々あります。

より正確に、よどみのないリズムを刻むには、この左手の右手化（ちよっと変な表現？）が重要です。

※ この右手ショットについての説明は、ここ抱え桶でしていますが、「伏せ打ち」も全く同じです。

特に締太鼓のような小さな太鼓、細めのバチはそうです。バチが太く、太鼓が大きくなるにつれ「しっかり握る」と、【指】はあまり使われなくなります。